



北区の部屋だより

2026年5月 第201号



刊行物登録番号 7-2-179

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和8年5月発行

北区 こぼれ話 第201回

ひふくしょうない

被服廠内に弾丸が飛んでくる！？

一軍事施設が密集していたことの弊害一



戦前の北区域には軍事施設が多く点在し、区の敷地面積のおおよそ1割を占めていました。特に赤羽地域の西側台地部分は、軍事施設が密集する場所でした。軍事施設同士が近場にあるということは運搬や連絡などが行いやすいといった利点がありましたが、近場であるが故の弊害もありました。

時は1891年(明治24)2月にさかのぼります。北豊島郡岩淵町大字赤羽(現赤羽台1、2丁目)の土地に、軍服や軍靴を製造する陸軍被服廠の倉庫が移転してきました。

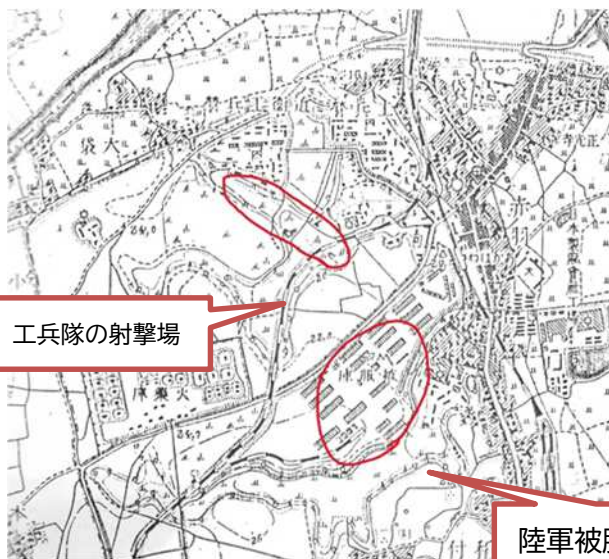
そこでは、作業人が貯蔵品の手入れや各地に送付

する品物の荷造りなどを行っていましたが、ある日、被服廠内に弾丸が飛来するという事故が起きました。その後、何度も弾丸は飛来し、このままでは仕事にならないと判断した被服廠は、飛んできた弾丸を添えて陸軍省経理局^{りくぐんしょうけいりきょく}に対応を求めました。そもそもこの弾丸はどこから飛んできたのでしょうか？実は、被服廠倉庫のすぐそばには工兵隊の射撃場があり、弾丸が飛来した日は、第一師団工兵第一大隊^{だいいち}が射撃演習を行っていたのでした。

経理局から改善を求められた工兵隊は、高さ11間(約20m)、長さ48間(約87m)あった射埰(弓や射撃の的をかけておくために築かれた山の形をした盛り土のこと)を若干高くし、長さを左右5間(約9m)ずつ延長することにしました。それ以降、再び改善を求める資料が見つからなかったため、これで問題は解決したものとされます。

赤羽の台地上には、今回紹介した被服廠や工兵隊の他にも赤羽火薬庫や兵器補給廠といった軍事施設がありました。このことは、すなわち、今回のような軍同士のトラブルが起こっても不思議ではない場所だったということを意味しているのです。

【地域資料専門員 佐久間 乙葉】



工兵隊の射撃場と陸軍被服廠倉庫のおおよその位置関係
1919年(大正8)2万5千分の1「赤羽」
大日本帝国陸地測量部作成

※出典：「被服廠内へ弾丸飛散の件」JACAR
(アジア歴史センター)Ref.081561600、1892年(明治25)
「貳大日記2月」(防衛省防衛研究所)

北区の部屋
今月の展示

北区まちかど美術館
せいぼう はるよし
～北村西望・北村治禧親子作品～

■展示期間 4月24日(金)～5月27日(水)
■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー



現在、区内の街角や公園、公共施設などには多くの彫刻が設置されており、私たちの日常生活が豊かに彩られています。今月の展示では、そうした彫刻の中から北区名誉区民のお二人、北村西望・北村治禧親子の作品を紹介します。春の陽気に誘われて、区内の芸術鑑賞はいかがでしょう



歴史講演会のお知らせ

【企画・運営：北区図書館活動区民の会】

「開運！はじめての御朱印巡り～初心者のための御朱印作法と、北区の御朱印の楽しみ方～」を開催します！



神社や寺院を参拝した証として頂く御朱印ですが、神仏に愛されるマナーがあります。御朱印集めの魅力に触れ、区内の神社仏閣を紹介します。

日時：6月27日(土) 14時～16時

講師：御朱印巡りナビゲーター

河野 晶子氏

会場：北区立中央図書館 3階ホール

対象・定員：中学生以上、40名(抽選)

締切：6月10日(水) 必着

【申込方法】

①申込フォーム：右記の申込コードを読み取りください。

②往復はがき：必要事項を記入し、下記申込先まで。

往信用裏面

講座名、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号

返信用表面

申込み方の郵便番号、住所、氏名



申込フォーム

※障害のある方で付添人が必要な方は付添人1人のみ可。(申込時にその旨記載)

※視覚障害の方は電話申込可。

※聴覚障害のある方はFAX申込可。(FAX返信のため、自宅にFAXがある方のみ)

※会場にはヒアリンググループ補聴援助システムが設置されています。

◆申込先(問い合わせ先)

〒114-0033 北区十条台 1-2-5 北区立中央図書館

03-5993-1125 FAX 03-5993-1044



耳マーク



中央図書館刊行物・新刊本のご案内

改訂版、全地区完成しました！！

「北区の歴史 はじめの一步 王子西地区編 改訂版」

執筆 黒川徳男 保垣孝幸/編集・発行 北区立中央図書館



『北区の歴史 はじめの一步』は私たちの住む北区をもっとよく知ってもらうために、北区を7地区に分けて作成した地域学習の入門書です。それぞれの地区の特徴をわかりやすい解説と目で見て理解しやすい多くの図版で紹介しています。今回で全地区改訂版が揃いました。毎年学校を通して、区立小学校3年生児童全員に該当する地区編をお配りしています。また、区内全図書館で閲覧・貸出ができ、販売もしています。

販売場所：中央・滝野川・赤羽図書館、飛鳥山博物館、

区政資料室(区役所第1庁舎1階)及び区内一部書店

書誌番号：B13580061

販売価格：400円



北区の部屋だより

2026年6月 第202号



刊行物登録番号 7-2-179

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」 〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和8年6月発行

北区 こぼれ話 第202回

う え し た 上と下～北区の地形と地名との関係～

私たちの暮らす東京都北区はJR京浜東北線の線路付近を境にして、東側が海拔 5m 以下の東京低地、西側が海拔 20～25mほどの武蔵野台地となっており 15～20m 程度の高低差があります。そのため、地名に「上」とついたら台地の上、「下」とついたら低地の方に位置している人も多いのではないのでしょうか。

江戸時代以来、桜の名所として知られる飛鳥山ですが、史料には「飛鳥山下」という地名が頻繁に登場します。八代将軍徳川吉宗が最初に桜を植えた場所も山の上ではなく「飛鳥山下」で、そこには幕府主導で水茶屋も建てられました。また、幕末になって幕府は滝野川村内に大砲製造所（反射炉とも）の建設を始めますが、その関係でも「飛鳥山下」という地名が出てきます。

では、「飛鳥山下」とはどこなのでしょう。現在のJR王子駅の周辺、線路のあたりを「飛鳥山下」と想像する人も多いかと思いますが、江戸時代の「飛鳥山下」は本郷通りから明治通りへ続く道沿い、明治時代に入って「飛鳥山前」という滝野川村の字になった一帯（現在の滝野川 2 丁目 1～5 付近）が「飛鳥山下」なのです。「えっ？ 下？」と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、現在でも明治通りの飛鳥山交差点（標高 15.1 m）から飛鳥山の上（標高 25.4m）までは 10 mほどの高低差があり、下といえば下です。

一方、王子村では明治時代に入ると飛鳥山およびJR王子駅周辺を含め字山下という地名が誕生

しました。加えて、大正 2 年（1913）王子電気軌道（現在の東京さくらトラム〈都電荒川線〉）が三ノ輪線を敷設した際に起終点地として飛鳥山下停留場を開設したことで、低地部の方を「飛鳥山下」と呼ぶことを決定づけたものと思われます。昭和 33 年（1958）、飛鳥山下停留場は栄町停留場と改称しますが、「飛鳥山下」の名で慣れ親しんできた人も多いのではないかと思います。

いうまでもなく、停留場の名称は、実際の地形から見て名付けられたものと思われます。しかし、歴史的に見れば、実は全く別の場所を同じ名称で呼んでいることがあります。取り分け「上」とか「下」という文字が入っている場合にはご注意ください。



北とびあから見た飛鳥山（2025 年撮影）

【地域資料専門員 保垣 孝幸】

北区の部屋 今月の展示

踏切探訪～こんなところに不思議な名前～



■展示期間 5月29日（金）～6月24日（水）

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

昔は様々な場所で見ることができた踏切は、鉄道の高架化や地下化によって段々とその姿を消しつつあります。普段私たちが何気なく素通りしてしまう踏切には、ひとつひとつ名前がついており、中には古い地名がつけられた踏切もあります。今回は北区周辺の踏切の名前をご紹介します、どうしてこの名前がついているのか探っていきます。



古文書入門講座「古文書って面白い！」はじまりました

5月8日（金）に古文書入門講座（全6回）が開講しました。古文書を読み解くための基礎知識や字典の使い方を学びながら、くずし字を一文字ずつ読み解いていきます。テキストは北区に残る実際の古文書です。1回目はくずし字を編や 旁 から辞典やテキストで探しました。くずし方はさまざま、正解は1つとは限りません。受講生の皆さんは難解なくずし字に苦労しながら、講師と一緒に問題を解いていました。北区に実在した人たちが書き記した古文書は、当時の生活に密着する内容が多くあります。講師が古文書特有の表記方法や言い回しだけでなく、その時代背景も解説していくため、地域の歴史も一緒に学ぶことができます。



くずし字の「役」



講師：日本近世史研究家
保垣孝幸 地域資料専門員



中央図書館「北区の部屋」では、 北区の歴史に関わる資料を探しています！！



飛鳥山公園の遠景（1971年）

みなさんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治・大正期だけでなく、昭和・平成期の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、お心あたりのある方はぜひご一報ください。



北区の部屋だより

2026年7月 第203号



刊行物登録番号 7-2-179

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和8年7月発行

北区
こぼれ話
第203回



火薬泥棒あらわる？

一連続火薬庫侵入事件と赤羽火薬庫一



1915年(大正4)10月24日の夜のことで、陸軍の赤羽火薬庫(現在の桐ヶ丘1丁目)で巡回にあたっていた兵士が、火薬庫敷地の柵を乗り越えて忍び込んだ盗賊を発見しました。盗賊はダイナマイトが入る倉庫の扉を開けようとしていましたが、兵士に見つかったため逃亡したといえます(『東京朝日新聞』1915年10月27日付)。

赤羽火薬庫の捜査が続けられるなか、今度は京都宇治で火薬庫に不審な人物が侵入する事件が起きました。これも警備中の兵士が発見し、賊を咎めたところ逃亡したとのこと(『読売新聞』同年10月30日付)。

相次ぐ火薬窃盗未遂事件をうけ、11月初旬に控えていた大正天皇の京都行幸を不安視する動きがありました(『読売新聞』同年10月31日付)。問題なく行幸が終えられるように軍も警察もできる限り不安要素は取り除いておきたかったのでしょう。

盗賊の正体をめぐり、軍施設内に容易く侵入していることから軍関係者であると推測する

記事(『東京朝日新聞』同年11月2日付)や、政府に不満がある人物の仕業であるとする記事、日本の火薬の秘密を探るために忍び込んだ外国人の仕業とする記事(『読売新聞』同年10月30日付)など意見は錯綜。犯人もなかなか明らかになりませんでした。

さて、同時期に起こった2つの事件ですが、最初に真相が判明したのは宇治火薬庫の方でした。なんと、盗賊ははじめから存在せず、警備をしていた兵士がついた嘘だったということです(『読売新聞』同年11月2日付)。

それからというもの、警察や新聞では赤羽火薬庫の事件も宇治同様に兵士が嘘をついたのではないかと事件自体を疑問視し始めましたが、軍は窃盗未遂があったと主張しつづけた(『東京朝日新聞』同年11月6日付)。

果たして、本当に盗賊はいたのでしょうか、それとも兵士がついた嘘だったのでしょうか。新聞によると、盗賊が入った証拠になるものは、兵士の証言と空いた錠前だけだったようです。それ故に、兵士が錠の閉め忘れによる叱責を免れたい一心で事件をでっちあげた可能性は大いにあると考えられますが、残念なことに、その後事件に関する記事はなく、真相は不明のままです。

【地域資料専門員 佐久間 乙葉】



北区の部屋
今月の展示

はいじ

廃寺になった北区の寺院～仏教受難の明治維新～



- 展示期間 6月26日(金)～7月22日(水)
- 展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

江戸時代が終わると、明治新政府は仏教優位の宗教政策を転換し、しんとうこっきょうかせいさく神道国教化政策を推進しました。こうしたなかで、寺院に対してしゅくせい肅清も行われ、北区でも多くの寺院が廃寺となっています。今月の展示では、明治初期の段階で廃寺となった北区の寺院を紹介します。

平和図書コーナーを開設します

図書館では北区をあげて行われる平和祈念週間のイベントの一環として、区内全図書館に「平和図書コーナー」を開設します。
本を通じ、皆様が平和について考えるきっかけになればと願っております。

- 開設期間：令和8年7月24日(金)～8月30日(日) ※休館日を除く
- 開設場所：①一般向け … 中央・滝野川・赤羽図書館
②児童向け … 区内全図書館(子ども図書館、児童コーナー、子ども室等)

中央図書館では、北とぴあ地下1階展示ホールで行われる平和展(8月4日(火)～8日(土)まで)に「『北区の部屋』の資料で見る戦争と区民の生活」と「ドナルド・キーンと平和2026」の2つのテーマでパネル展示をします。また、「平和展」終了後には、パネル展示を引き続き中央図書館にて8月9日(日)～30日(日)まで行います。ぜひ足をお運びください。

「古文書入門講座」終了しました！



講座の様子

5月9日にスタートした、古文書入門講座「古文書って面白い！」全6回が終了しました。回を重ねるごとに読める文字が増えていき、受講生がテキストを音読する声がかんたん大きくなり、自信がついた様子が分かりました。

講師の保垣孝幸地域資料専門員より、講座の最後に「江戸時代の人が書いた文書を読みながら、それを通じて自分なりに江戸時代を読み解いてください。北区の図書館には、古文書を複写して製本したものもあります。どうぞ勉強を続ける方策を考えてみてください」とお話がありました。参加者からは「何らかの形で勉強を続けていきたいと思いました」「旅先で文書を見たときに講座で知った文字を見つけて読めたのがとてもうれしく感じました」等の感想が寄せられました。





北区の部屋だより

2026年 8月 第204号



刊行物登録番号 7-2-179

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和8年8月発行

北区 ごぼれ話 第204回

夏休み自由研究 たんけん！ぼくのまち ～十条銀座商店街編～



みなさん、夏休みの宿題は終わりましたか？
えっ?!もう宿題をする必要はない。それはそうなの
ですが、それでは何かもの足りない、そう思っ
ている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
そこで今回は、今年私が行った自由研究について
紹介したいと思います。

準備したのは今から50年ほど前の地図。店が
一軒一軒載っている住宅地図(※1)です。これ
を持って十条銀座商店街を歩き、50年前から商
売している店を確認していくことにしました。

JR 十条駅側から商店街に入るとすぐに信脇屋
という果物屋さんがあります。「フルーツストア
ー信脇屋」、50年前の地図で確認することがで
きます。また、少し進むと惣菜を買う長い列がで
きている塩家というお肉屋さんがありました。こ
こも50年前には営業しています。そのすぐ先
にあるリカーショップ Ohbayashi、50年前の「大
林酒店」に間違いなさそうです。この調子でどん
どん進みます。しばらく行くと見るからに古そう
な店構えの高橋生花店がありました。一方で真新
しい店構えの雄飛堂薬局十条本店。ともに50年
前から店舗があります。魚鈴本店は移転のため現
在工事中。向かいの十條金物ロックサービスは、
50年前の地図にある「ヨロツヤ金物店」の流れ
を汲む店なのではないでしょうか。味のデパートしなのや
(しなのや食品店、※1の店名は以下「」では
なく()で表記)、小藤屋(小藤センベイ)、せ
とものたきざわ、そしてメガネのササガワ(笹
川時計)。この辺りは50年前から営業している

店が集まっています。まだまだあります。化粧品
を扱う TAKAMASA (高政商店(雑貨))、衣料
品の YAMADA (ヤマダ洋服)、惣菜のおおつや
(大津屋食料品)、そして、大型服飾店のキンコ
ー堂。当然、キンコー堂も地図に載っています。

さらに歩を進めます。そめものごふくはらだ
(原田染物)、十条菓子舗むさしや(ムサシヤ和
菓子)、学校指定用品も扱うオオヤマ(大山洋服
店)、広い間口の茶の丸美屋も十条銀座を代表す
る古くからの店舗といえます。そろそろ十条銀座
の終わりが近づいてきました。うなぎの和孝。こ
こも50年前の地図で名前が確認できました。

今回は商店街を歩いただけで、ちゃんと調べれ
ば50年以上続く店はまだあるのかも知れま
せんが、それでも昔の地図にある店を見つけた
だけで、とてもワクワク楽しい探検をした気分にな
りました。

さて、これを自由研究としてどうまとめるか
ですが、結局のところ今回はまとめないことにし
ました。変に頭をこねくり回して考えるより、楽し
かったから「よし」とします。何より一度調べ
ると、次にその場所を通ったとき、「ああこの店、古
かったよなあ。」など、いろいろ思いを巡らせな
がら歩くこととなり、いつも見ていた風景がまた
違った新たな世界へと広がっていきます。それだ
けで十分でしょう。どうですか、こんな自由研究。
材料は「北区の部屋」に揃っていますよ。

※1 『東京都航空住宅地図帳(北区)』1974年版。

【地域資料専門員 保垣 孝幸】

北区の部屋 今月の展示

米軍が撮影した戦後の北区 ～米国国立公文書館所蔵写真から～



■展示期間 7月24日（金）～8月26日（水）

【十条台のTOD第4地区（現自衛隊十条駐屯地）】

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

1955年8月4日

戦前の北区には、様々な日本陸軍の施設がありました。終戦後、それらは連合国軍に接收され TOD（TOKYO ORDNANCE DEPOT 東京兵器補給廠^{ほきゅうしょう}）などに使用されました。このほど、板橋区教育委員会が米国国立公文書館調査を行い、板橋区だけでなく北区の米軍撮影写真も発見しました。それらの写真の一部をご紹介します。今回の展示は、昨年の平和祈念週間に地域資料アドバイザー黒川徳男氏が作成したものです。今年も行われる平和祈念展示に先立ち、「北区の部屋」にて再展示いたします。

平和図書コーナーを開設しました



図書館では北区をあげて行われる平和祈念週間のイベントの一環として、区内全図書館に「平和図書コーナー」を開設しました。

■開設期間：令和8年7月24日（金）～8月30日（日） ※休館日を除く

■開設場所：①一般向け … 中央・滝野川・赤羽図書館

②児童向け … 区内全図書館（子ども図書館、児童コーナー、子ども室等）

中央図書館では、北とぴあ地下1階展示ホールで行われる平和展（8月4日（火）～8日（土）まで）に『『北区の部屋』の資料で見る戦争と区民の生活』と「ドナルド・キーンと平和 2026」の2つのテーマでパネル展示をします。また、「平和展」終了後には、パネル展示を引き続き中央図書館にて8月9日（日）～30日（日）まで行います。ぜひ足をお運びください。



歴史講演会「マンホールの蓋から読み解く地域の歴史」を開催します！

【企画・運営】北区図書館活動区民の会

現在も北区の路上に残る王子町や荒玉水道など戦前のマンホールの蓋から、地域の記憶・歴史を「街蓋学^{がいがいがく}」という独自の視点でひもときます。

■日時 9月5日（土）午後2時～4時

■対象 中学生以上

■会場 北区立中央図書館3階ホール

■講師 マンホーラー^{てつぽた}（鉄蓋鑑賞愛好家）・竹内正則氏・白浜公平氏

■定員 40名（抽選）

■締め切り 8月14日（金）（必着）

■申込方法 往復はがき（記入例参照）または申込フォーム

※視覚障害のある方は電話申し込み可

※聴覚障害のある方はファクス申し込み可
（FAX 返信のため、自宅にFAXがある方のみ）

※障害のある方で付添いを必要としている方は付添人1名のみ可
（申し込みの際にその旨ご記入ください）。

※会場にはヒアリングループ補聴援助システムが設置されています。

■申込・問合先 〒114-0033 北区十条台1-2-5

中央図書館図書係 TEL (5993) 1125 FAX (5993) 1044



申込フォーム



耳マーク

（返信用表面）
申し込む方の
〒
住所
氏名

（往信面裏面）
講座名
〒 住所
氏名（ふりがな）、
年齢、
電話番号
その他必要事項

はがき記入例



北区の部屋だより

2026 年 9 月 第 205 号



刊行物登録番号 7-2-179

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和 8 年 9 月発行

北 区
こぼれ話
第 205 回

疎開先にあいこう

～戦後の北区の小学校と群馬県とのつながり～

先の大戦では次世代を担う「少国民」の保護のため、空襲被害が懸念される都市の国民学校初等科 3～6 年生の児童は親元を離れ、集団学童疎開をすることになりました。そして、北区域の児童は 1944 年（昭和 19）8 月から 1945 年（昭和 20）8 月 15 日までの間、主に群馬県に疎開しました。終戦を迎えて、児童は疎開先から北区に戻ってきましたが、疎開先と児童の交流は、その後も続いていきました。

岩淵小学校は 1938 年（昭和 13）の開校ですが、その数年後に戦時の波をうけて群馬県の榛名山に学童疎開しました。そして、終戦から 10 年後、当時疎開していた子どもたちが成長し、疎開先でお世話になった宿の人々にお礼がしたいと、当時の教員も一緒に榛名山に行くことになりました。学校の記念品や、個人でお土産を準備し、映写機を持参して映画の上映会を開いたということです（『読売新聞』1954 年（昭和 29）10 月 28 日付）。

1986 年（昭和 61）には、群馬県中之条町で当時疎開していた滝野川区の児童を対象にして、お世話になった寮母さんや地域の人々と交流し、思い出を語り合うイベントが開催されました。これは、中之条町合併 30 周年を記念したイベントで、過疎化が進む中之条町と北区のつながりを保ち、中之条町の産業観光振興発展のために計画されたものです（『北区教育史』北区教育委員会、1995 年）。

また、1995 年（平成 7）から 1997 年（平成 9）の間、滝野川第六小学校の児童は、疎開先だった群馬県中之条町に出向き、地元の農家の人と一緒にこんにゃくづくりを行っています（『滝野川第六小学校学校創立 70 周年記念誌』1998 年）。

このように、現在確認できるものだけでも交流会が定期的におこなわれていたことがわかっています。岩淵小学校や合併 30 周年イベントのように実際に疎開を体験した卒業生たちが疎開先に出向いて交流会を行うこともあれば、滝野川第六小学校のように疎開体験者でない子どもたちと疎開先の地域との交流会が行われたこともありました。

集団学童疎開で地方に疎開した児童・学校と、受け入れ先の旅館や寺社は、疎開によってできた縁を大切に、終戦後も定期的に交流会を開きお互いにつながりを保ってきたのです。



【地域資料専門員 佐久間 乙葉】

北区の部屋
今月の展示

「80 年前の北区、今の北区」



■展示期間：8月28日（金）～9月23日（水）

■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

北区が誕生して来年で80年を迎えます。まだ、戦争の爪痕が残るおよそ80年前の北区と現在の北区を航空写真で見比べます。

「北区の部屋」新着資料紹介

高崎哲郎氏講演会「技師・青山士あおやまあきら～その精神の軌跡～」[DVD]

2026年（令和8）6月、『評伝技師・青山士ひょうでんの生涯-われ川と共に生き、川と共に死す-』（講談社）の著者 高崎哲郎氏の講演会が青山士生誕の地である静岡県磐田市で行われました。旧岩淵水門（赤水門）の建設でも中心的役割を担った、北区とも関係の深い人物です。詳しくは知らないが、青山士の名前だけは聞いたことがあるという方も多いのではないかと思います。

そしてこのたび、講演者である高崎哲郎氏をはじめ静岡県磐田市、講演会を主催した青山士記念碑建こんりゅう立委員会など関係各位のご理解、ご協力により北区立図書館に講演映像を寄贈いただきました。映像はDVDにして中央・赤羽・滝野川の各図書館に配架しています。貸出もできますので、ぜひ、地域学習等に活用いただけたらと思います。

※画像が多少、揺れる場合があります。ご了承ください。

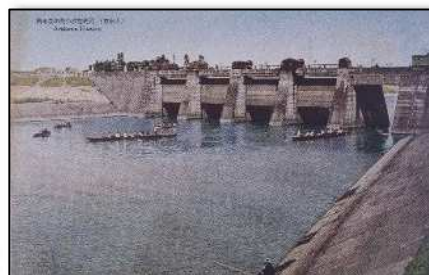
<新作DVD>

タイトル：『技師・青山士～その精神の軌跡～』

講 師：高崎哲郎 氏

出 版 者：青山士記念碑建立委員会

書 誌 番 号：B13644736



赤く塗られる前の旧岩淵水門の絵葉書

北区の歴史一緒に学びませんか？

「北区の歴史を学ぶ会」のご案内

■開催日時：毎月第4火曜日 午後2時～4時

■展示場所：中央図書館3階ホール/区民活動コーナー

北区図書館活動区民の会では、図書館と協働でさまざまな取り組みを行っています。そのうちのひとつ、地域資料部会では、北区の地域資料を考える上で「まずは北区の歴史を学ぼう！」と「北区の歴史を学ぶ会」を開催しています。

月に一度集まり、参加者自身が北区を題材に調べ上げた研究成果を発表したり、定点観測を行ったりと、北区をさまざまな切り口で取り上げ学んでいます。「北区の部屋」の地域資料専門員も参加していますので、興味深い話が聞けるかもしれません。聴講だけでも大丈夫です。一度、来てみませんか？

※問合せ 中央図書館内 北区図書館活動区民の会事務局（☎03-5993-1125）

